

<p style="text-align: center;">歴 史 ( History )</p>	<p style="text-align: center;">3年・通年・2単位・必修 機械工学科・情報工学科 担当 吉井 武史</p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標〕 (1)</p>	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕</p>
<p>〔講義の目的〕 歴史の学習の目的は、過去に学ぶ事によって、現在の社会の成り立ちを理解し、さらに未来への展望を探る事にあると言えよう。そのためには正確な事実を追究する姿勢が重要である。</p>		
<p>〔講義の概要〕 2年生では、日本史を軸とした歴史を学んだわけであるが、3年生では、いわゆる世界史を学習する事となる。但し、全世界の国々の歴史を総花的に概観するだけでは、底の浅い理解しか得られないと思われるので、現在の世界に最も重大な影響を与えているヨーロッパ諸国の歴史を軸に、それなりの深度を持った講義を展開して行きたい。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 教科書に準拠したプリントを用いて授業を行なう。授業には副教材を使用する。</p>		
<p>〔到達目標〕  <b>前期中間試験</b>：1)先史時代の理解、2)古代アメリカ文明の理解、3)古代オリエント文明の理解、4)古代ギリシア文明の理解  <b>前期末試験</b>：1)ヘレニズム時代の理解、2)古代ローマ文明の理解、3)ゲルマン民族大移動期の理解  <b>後期中間試験</b>：1)フランク王国の理解、2)中世前期西欧社会の理解、3)中世東欧社会の理解、4)中世後期西欧社会の理解  <b>学年末試験</b>：1)中世西欧文化の理解、2)大航海時代の理解、3)ルネサンスの理解、4)宗教改革の理解、5)絶対主義時代の理解、6)英国市民革命の理解</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験成績(80%)にレポート点(20%)を含めて総合評価する。</p>		
<p>〔教科書〕 「高校世界史B」, 山川出版社, 著者; 佐藤次高・木村靖二・岸本美緒  <b>〔補助教材・参考書〕</b> 「明解世界史図説 エスカリエ」, 帝国書院, 「補助教材: 配布プリント」</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 講義にあたっては、1年次で学習した地理や、2年次で学習した日本史との関連も重要になるので、各自が適宜復習しておいてもらいたい。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	先史時代	人類の生物学的進化の過程と文化の発展について説明する。	
第2週	古代アメリカ文明	メソアメリカ・アンデス両文明の特質について説明する。	
第3週	メソポタミア・エジプト文明	メソポタミア・エジプト両文明の成立と相違点について説明する。	
第4週	古代のシリア・パレスティナ	アラム人・フェニキア人・ヘブライ人の活動について説明する。	
第5週	アッシリア・ペルシア帝国	アッシリア・アケメネス朝・パルティア・ササン朝について説明する。	
第6週	エーゲ文明とポリスの成立	エーゲ文明に関して発見史を交えながら解説し、ポリスの成立と古代ギリシア人の民族意識について説明する。	
第7週	古代ギリシアの民主政治	アテネの民主政治成立過程を説明し、現代の民主政治との相違点を理解させる。スパルタの特殊な国制についても解説する。	
第8週	ヘレニズム時代	アレクサンドロス大王の東征とディアドコイ戦争後のオリエント情勢について説明する。	
第9週	ギリシア・ヘレニズム文化	ギリシア・ヘレニズム時代の文化について説明する。	
第10週	共和政ローマ	都市国家ローマの成立から地中海世界統一までの過程を説明する。	
第11週	帝政ローマ	前期帝政と後期帝政の相違点を理解させる。	
第12週	キリスト教の成立と発展	キリスト教の宗教伝説と史実との相違点を理解させる。	
第13週	ローマ文化	キリスト教関連以外のローマ文化について説明する。	
第14週	ヨーロッパ大陸の気候風土	ヨーロッパ大陸の気候風土・地理的特質について解説する。	
第15週	ゲルマン民族大移動	ゲルマン民族大移動期の欧州情勢について説明する。	
前期期末試験			
第16週	フランク王国	フランク王国の西欧統一と分裂について説明する。	
第17週	ノルマン人の活動と封建社会	ヴァイキングの活動と中世西欧封建制について説明する。	
第18週	カトリック教会の発展と東ローマ帝国	叙任権闘争による教会権力の発展を説明し、東ローマ帝国の興亡についても解説する。	
第19週	スラヴ民族の活動	東欧のスラヴ民族の国家形成について解説する。	
第20週	十字軍と中世都市	十字軍派遣と、それに伴う西欧の商業復活について説明する。	
第21週	封建制度・カトリック教会の衰退	封建制度崩壊と教会の権威失墜の過程を説明する。	
第22週	英国議会の成立と百年戦争	身分制議会の成立と中央集権国家成立への過程を説明する。	
第23週	レコンキスタと神聖ローマ帝国	中世末期のイベリア半島・ドイツ・イタリアの情勢を説明する。	
第24週	中世西欧文化	中世西欧文化の特質を理解させる。	
第25週	大航海時代	ポルトガル・スペイン両国の活動を中心に説明する。	
第26週	ルネサンス	イタリアルネサンスの成立と他国への波及について説明する。	
第27週	宗教改革	ルター・カルヴァンの改革と英国国教会成立について説明する。	
第28週	スペイン絶対主義とオランダの独立	スペインの極勢期とオランダの活動について説明する。	
第29週	ユグノー戦争と三十年戦争	大規模な宗教戦争の実態について説明する。	
第30週	英国市民革命	清教徒革命と名誉革命を経た議会主権国家の成立について説明する。	
学年末試験			

\* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成)